

# 杜の便り

## 『試行錯誤の一年を振り返って』



令和5年度がスタートし「杜の便り」も久しぶりの発行となりました。昨年より馬場八重子前施設長の後を引き継ぎました佐藤広純です。社会福祉法人章佑会の創設者である、初代施設長の想いを受け継ぎつつ、やすらぎの杜のさらなる充実を目指していきたいと思っております。

昨年を振り返ると、世界ではロシアによるウクライナ侵略が、やすらぎの杜にとっては、馬場前施設長の急逝、夏と冬の新型コロナウイルス感染症のクラスター発生など、世界においてもやすらぎの杜にとっても、激動の一年だったと思っております。そんな中でも、やすらぎの杜は利用者さんとともに、試行錯誤し協力しながら、なんとか乗り越えてこられたと思っています。

やすらぎの杜の事務室には、馬場前施設長が残した9枚の短冊があります。

「多いつもりで少ないのが『分別』」  
「高いつもりで低いのが『教養』」  
「低いつもりで高いのが『気位』」  
「強いつもりで弱いのが『根性』」  
「弱いつもりで強いのが『自我』」  
「深いつもりで浅いのが『知識』」  
「浅いつもりで深いのが『欲望』」  
「厚いつもりで薄いのが『人情』」  
「薄いつもりで厚いのが『面皮』」

毎日の仕事や暮らしのなかで、何かに直面した際、気持ちに余裕が無い時ほど「その何か」の原因を自分以外に求めがちになります。誰かに何かを求めるだけでなく、自身の心のありかたを振り返る・省みるために、この9枚の短冊を見るようにしています。謙虚な気持ちをもちながら、仕事に取り組んだり、暮らせる自分でありたいと思っております。

今年度は、どのような形でコロナ後を迎えるか考えていく年になりそうです。世の中の情勢を踏まえつつ、やすらぎの杜として利用者さんの健康や安全とのバランスをとりながら、慎重に進めていきたいと考えております。試行錯誤があったり、ご不便をおかけすることもあるかとおもいますが、何卒、皆様のご理解ご協力をお願い申し上げます。

やすらぎの杜  
施設長 佐藤広純



### 3階入所部 菅原康匡さん

ワールドワイドな  
芸術活動が評価され

## 練馬区障害者福祉功績者 に選ばれ表彰されました！



祭

# やすらぎの杜縁日開催!!

祭

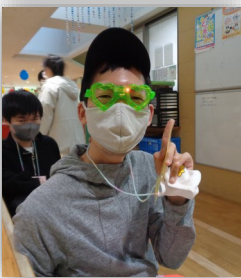
新型コロナウイルスの感染症対策を講じながら、通所部<<10月29日>>、入所部<<10月30日(2階、3階)>>に分かれて「やすらぎの杜縁日」を開催しました。

催し物は、フォトスペース・射的・ヨーヨー釣り・千本引き・ボーリング・輪投げ・綿あめの6種類。利用者さんはそれぞれのブースで思い思いに楽しんでいました。そして今回は、やすらぎの杜として初の試みでオシャレなキッチンカーに来てもらいました。フライドポテトとゴルゴンゾーラ香る牛すじカレー、バターチキンカレーの2種類からお好みのカレーを選びました。珍しいカレーを素敵なキッチンカーから受け取り、アウトドア気分を堪能しました。楽しい催し物と、美味しい昼食で大満足な1日となりました。

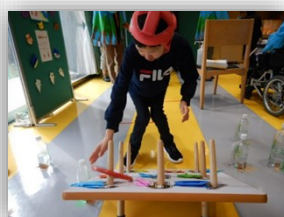
今年も全体での開催とはなりませんでしたが、無事に終わられたことに安堵しています。新型コロナウイルスが収束し、皆そろってのイベントが再開できることを願っております。

行事委員 中嶋 聡雅

## 通所部



## 入所部





# 夏のお祭りランチ



夏の食事は『夏のお祭りランチ』と称して、お祭りの屋台で定番の焼きそば、たこ焼き、お好み焼き、フライドポテトなどが盛りだくさんのランチボックスを食べました。食堂には提灯風の飾りや鳥居の装飾を施し、祭囃子の音楽が流れ、利用者と職員は浴衣や法被を着て、お祭り気分を楽しみました。美味しかったメニューを尋ねると、たこ焼きが一番人気でした。お腹いっぱいで大満足な様子でした。



# クリスマスランチ



冬の食事は、カレーピラフ、フライドチキン、ハンバーグ、エビフライなどが入った豪華なクリスマスランチボックスを食べました。食堂を飾り付けて、サンタクロースの帽子を被ると、みんなウキウキと楽しそうな様子でした。飲み物のジンジャールが配られ、「メリークリスマス」の掛け声で乾杯。みんな美味しそうに夢中になって食べていました。食事を終わるとサンタクロースの格好をした職員から、お菓子のプレゼントを受け取りました。「やったー!」「嬉しい」など、喜びの声が多く聞かれました。



# PoMA

Peace of Mind Art

## 幻のタイムスリップ 2025?

～a trip to world peace～



今回はPOMA2023カレンダーを手掛けさせていただきました！福祉施設で働いている我々にとって「平和」とは切っても切れない関係にあります。2022年、ウクライナ侵攻が起こり、今現在も続いていて、大きな社会問題として世界中で大混乱が巻き起こっています。コロナウイルスの影響もあり、閉鎖的なこのご時世でアートの持つ自由性は数少ない貴重なもののように思います。社の皆さんからアートの力を借りて、平和への祈りを込めたカレンダーが出来上がりました！

完成してからもミスが見つかり、このカレンダーを終えると2025年になってしまう事件が起こりましたが事なきを得ました。

やすらぎの社へ入社以前、占い師さんから「あなたは世界平和みたいなのを見ている」と言われたことがあります。当時の私にはピンと来ていませんでしたが、今回はそんな役目を果たすときが、..

いえいえ、これからです。今回は世界平和への旅のスタートなのです！これからもPOMAを通して私たちの世界平和旅行を応援してください！！

ぜひ皆さんも一緒に楽しんでくれたら幸いです。  
(北川)



# POMA2023カレンダー

## 発売中!!

全十四作（裏表紙あり）

1200円（税込み）

気になる方はご連絡ください。



〈法人理念〉  
あらゆる人に  
生きる夢と勇気と希望を提供する



POMAMORI



パン工房



社の便り 第47号 発行日/令和5年4月15日 発行者/社会福祉法人章佑会やすらぎの社 編集/やすらぎの社広報委員会  
〒177-0051 練馬区関町北5-7-10 TEL03-3928-3315 fax03-3928-3310